令和7年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	人間と社会	科　目	人間と社会	単位数	1
対象学年・組・コース	第　1　年　1　組	コース	自動車　電　気　建　築		
教科担当者					
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」東京都教育委員会				
使用補助教材	プリント				

教科『　人間と社会　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	現代社会について知り、自分で自分や社会の課題を見つける力をつける。
【思考力、判断力、表現力等】	見つけた課題について多面的に考察するなど、課題解決のために必要な力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	自分自身の生き方を充実させ、よりよい社会を築こうとする態度を身に付ける。

科目『　人間と社会　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	学習時間 演習	学習時間 体験	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第8章「チームを動かす力」 ・社会参画や公共の精神に関する道徳的価値について理解し、他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会の一員として主体的に行動する力を身に付ける。【知】【思】 ・よりよい人間関係を築こうとする態度を身に付ける。【学】	・グループエンカウンターなどによる体験学習 ・体験学習を通して学んだ事柄を発表する。 ・エゴグラフやエクササイズなどの取り組みを通して自分と向き合う。		○	・社会参画や公共の精神に関する道徳的価値について理解している。【知】 ・他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会の一員として主体的に行動できる。【思】 ・他者と協力しながらよりよい人間関係を築こうとしている。【態】	○	○	○	1
	第6章「スマートフォン時代のコミュニケーション」 ・スマートフォンを利用することで生じるコミュニケーションの問題について理解し、どのようなコミュニケーションが望ましいか考え、行動する力を身に付ける。【知】【思】 ・スマートフォンの利用におけるコミュニケーションについて課題を見つけ、主体的に学ぶ態度を養う。【学】	・IT社会における情報リテラシやセキュリティを学ぶ。 ・インターネット社会におけるコミュニテーションの問題点について学ぶ。 ・ケーススタディを通し、どのようなコミュニケーションが求められるか議論する。	○		・スマートフォンを利用することで生じるコミュニケーションの問題について理解している。【知】 ・スマートフォンを活用したコミュニケーションについてどうあるべきか考え、行動することができる。【思】 ・スマートフォンの利用におけるコミュニケーションについて課題を見つけ、主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	第3章「働くことの意義」 ・働くことと責任、社会貢献の関連について理解し、考えを深める。【知】【思】 ・働くことと社会貢献について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・人は、働くことを通して社会に参加し、社会の一員として経済的に自立した生活を営み、同時に社会に貢献していることに気付かせる。	○		・働くことと責任、社会貢献の関連について理解している。【知】 ・働くことは社会貢献につながるということについて、考えを深めている。【思】 ・働くことと社会貢献について、主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	第10章「お金の意義」 ・収支の管理、人や社会を幸せにするお金、税や社会保障等について理解し、望ましいお金の使い方について考えを深める。【知】【思】 ・お金の意義について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・収支の管理、人や社会を幸せにすること、税や社会保障などについて学ぶ。	○		・収支の管理、人や社会を幸せにするお金、税や社会保障、人生のリスクについて理解している。【知】 ・望ましいお金の使い方について考えを深めている。【思】 ・お金の意義について、主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	第1章「人間関係を築く」 ・人間関係を築くことの意味について理解し、望ましい人間関係の築き方について考えを深める。【知】【思】 ・望ましい人間関係の築き方について、主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・自分自身を理解することや他者を理解することについて学ぶ。		○	・人間関係を築くことの意味について理解している。【知】 ・望ましい人間関係の築き方について考えを深めている。【思】 ・望ましい人間関係の築き方について、主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	第16章「文化の多様性」 ・様々な文化があることの意義に	・世界の食文化について理			・様々な文化があることの意義に				

	・様々な文化があることの意義について理解し、多様性を受け入れる社会づくりについて考えを深める。【知】【思】 ・多様性を受け入れる社会づくりについて主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	解することを通して、様々な文化があることや、その意義について学ぶ。	○		ついて理解している。【知】 ・多様性を受け入れる社会づくりについて考えを深めている。【思】 ・多様性を受け入れる社会づくりについて主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	第4章「役割と責任」 ・自分自身の役割と責任について理解し、それを果たすことについて考えを深める。【知】【思】 ・自分自身の役割と責任を果たすことについて主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・ものづくり教室を通して、自分自身の役割と責任について考えを深める。		○	・自分自身の役割と責任について理解している。【知】 ・自分自身の役割と責任を果たすことについて考えを深めている。【思】 ・自分自身の役割と責任を果たすことについて主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	6
2学期	第16章「文化の多様性」 目標は1学期欄参照	・１学期より引き続き学習	○		・1学期欄参照	○	○	○	2
	第1章「人間関係を築く」 目標は1学期欄参照	・１学期より引き続き学習		○	・1学期欄参照	○	○	○	2
	第13章「地域社会を築く」公園ボランティア ・地域社会を築くことの意義について理解し、よりよい地域社会との関わり方について考えを深める。【知】【思】 ・地域社会との関わり方について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・地域の清掃活動を通して、地域社会を築くことの意義や地域社会との関わり方について理解を深める。	○	○	・地域社会を築くことの意義について理解している。【知】 ・よりよい地域社会との関わり方について考えを深める。【思】 ・地域社会との関わり方について主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	7
	第15章「科学技術と生命倫理」 ・科学技術や医療技術の進歩やいのちの問題について理解し、考えを深める。【知】【思】 ・科学技術や医療技術の進歩やいのちの問題について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・科学技術や医療技術の進歩とともに、生命倫理に関する問題も生じることを学ぶ。	○		・科学技術の進歩やいのちの問題について理解している。【知】 ・科学技術の進歩やいのちの問題について考えを深めている。【思】 ・科学技術の進歩やいのちの問題について主体的に学ぼうとしている。【態】	○	○	○	1
	最終章「これからの生き方」 ・自分の幸せと周りの人の幸せとの関係を理解し、考えを深める。【知】【思】 ・充実した人生や幸せな世の中について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【学】	・これまでの学習を振り返り、自分らしく充実した生き方や幸せな世の中にするにはどうしていくべきか考えを深める。	○		・自分の幸せと周りの人の幸せとの関係を理解する。【知】 ・自分の幸せと周りの人の幸せについて考えを深める。【思】 ・充実した人生や幸せな世の中について主体的に学ぶ態度を身に付ける。【態】	○	○	○	2
3学期	第15章「科学技術と生命倫理」 ・目標は2学期欄参照	・２学期より引き続き学習	○		・2学期欄参照				3
	最終章「これからの生き方」 ・目標は2学期欄参照	・２学期より引き続き学習		○	・2学期欄参照				3
	学習のまとめ ・現代社会のさまざまな問題点について振り返り、現在の自分の課題は何か考える。【思】 ・課題解決のために何が必要か学ぶ態度を身に付ける。【学】	・1年間の学習を振り返り、考えを共有する。	○		・現代社会のさまざまな問題点について振り返り、現在の自分の課題は何か考えようとする。【思】 ・課題解決のために何が必要か主体的に学ぼうとする。【学】		○	○	3
									合計 35